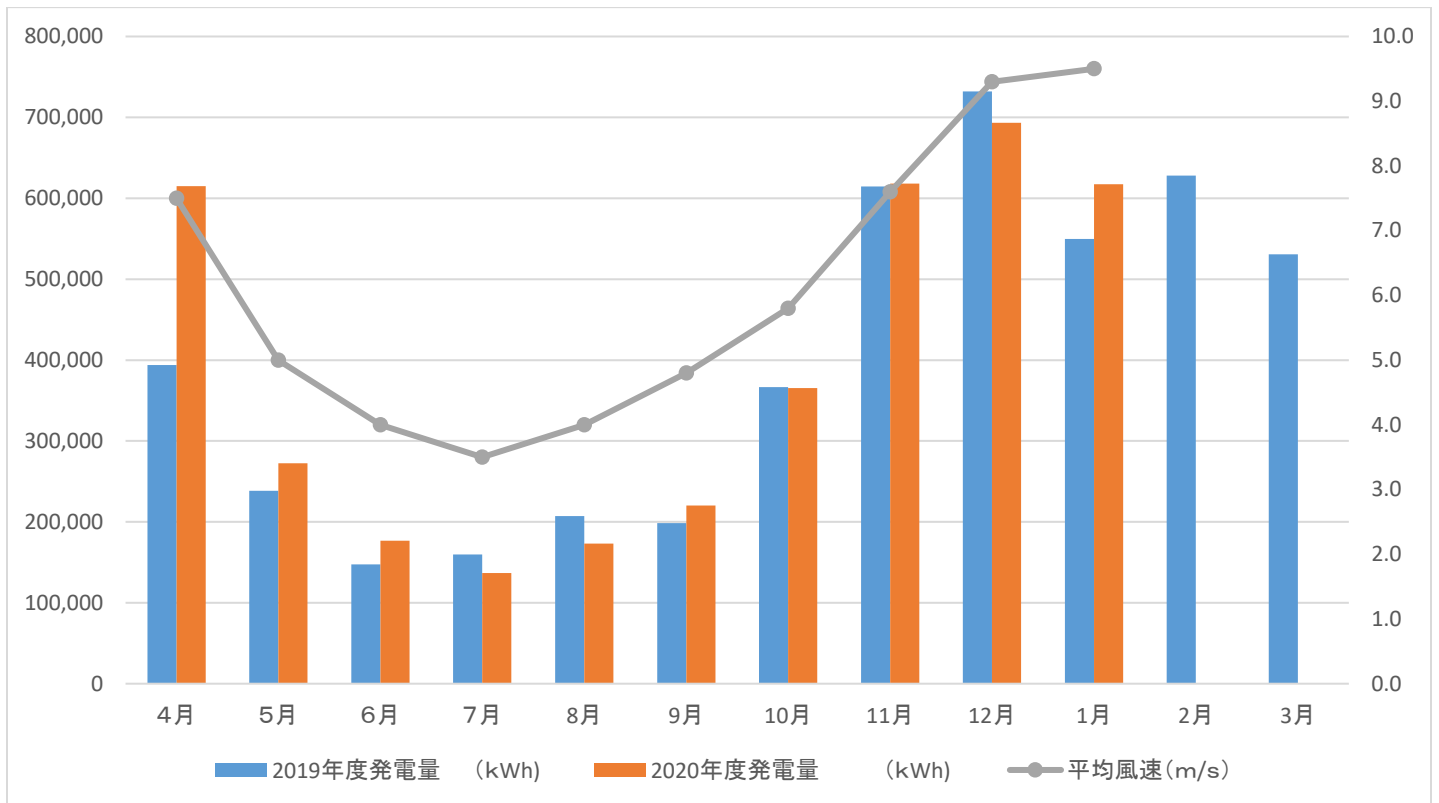


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

○ 2020年度発電実績



1月度運転状況について

- 平均風速は前年より2.3m/s 高い実績でした。
- 暴風雪の影響による突風を受けたことによるエラーが度々発生しました。

2/13福島県沖を震源とする地震が発生し、秋田県にかほ市も震度4の揺れを観測しました。生活クラブ風車・夢風は、この地震に伴うエラー停止もなく、順調に稼働しました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	615,129	7.5	99.1
5月	272,629	5.0	94.0
6月	176,764	4.0	99.0
7月	136,722	3.5	99.6
8月	173,246	4.0	91.4
9月	220,401	4.8	92.5
10月	365,485	5.8	98.7
11月	618,023	7.6	99.8
12月	693,277	9.3	94.9
1月	617,188	9.5	86.3
2月			
3月			

グリーンファンド秋田理事会報告

2月4日、2020年度第3回グリーンファンド秋田理事会をオンラインで開催しました。

主な議案は、第3四半期決算の承認、2020年度決算予測および対策、2020年度事業の中間まとめと2021年度方針素案などです。

2020年度は、新型コロナウイルスの影響で交流事業がほぼ中止となりました。そのため、交流事業に予算化しておりました費用がほぼ消化されず、予定より多くの剰余が出る予測です。生活クラブ風車「夢風」の事業剰余金を有効に活用する為、2020年度剰余金の一部を秋田県にかほ市の芹田自治会、子供太鼓団体、夢風ブランド開発生産者連絡会、NPO 北海道グリーンファンド、生活クラブ首都圏4単協の団体等に寄付を行うことを承認しました。

生活クラブ「デポー」にかほフェア開催 2/22(月)～28(金)是非ご参加ください

生活クラブ風車「夢風」のある
秋田県にかほ市から特産品がデポーに大集合

秋田県 にかほフェア

2/22(月)～2/28(日)
にかほ市をはじめとした
秋田県の特産品をたくさん揃えています。

秋田県
にかほ市

いちじく甘露煮
いぶりがっこ
秋田味噌
たらめん醤油味
もりたんぼ

2023年にかほ市に2基目の風車稼働(予定)
2020年7月、生活クラブは気候危機宣言を策定しました。気候危機を回避するための再生可能エネルギーを広げ、2023年、にかほ市内地区に2基目の風車を建設します。

再生可能エネルギーでよりよい未来をめざします

生活クラブは、太陽光、風力、バイオマスなど再生可能エネルギーで発電した電気が6割以上を占めている「生活クラブでんき」を利用する組合員の仲間を広げます。生活クラブ風車「夢風」も「生活クラブでんき」の電源の一つです。地球に負荷をかけない暮らしが、より良い未来を作ります。生活クラブでんきを選びませんか。

2019年度
電源構成比率

太陽光	36.2%
風力	16.7%
水力	5.0%
火力	21.2%
火力	9.8%
火力	1.1%

生活クラブでは、生活クラブ風車を通じて、電気だけでなく物産の取組みや交流を進めています。首都圏の生活クラブには「デポー」という店舗が、東京に10店舗、神奈川に22店舗、千葉に9店舗あり、昨年新しく埼玉に1店舗オープンしました。デポーでは「秋田県にかほフェア」を毎年開催しています。共同購入で扱っている夢風ブランド品の「たらめん」「鱈しょつつる」「はたはたおいる漬け」「純米大吟醸・夢風」に加えて、にかほ市や秋田県のおいしい特産品をたくさん取り扱います。今年のデポーにかほフェアは2/22(月)～28(日)の日程で、各デポーで開催されます。

例年は、にかほフェアに合わせて、にかほ市より生産者や芹田自治会、市役所の方々が来所して、組合員との交流を行いますが、今年は、新型コロナウイルスの感染防止から残念ながら来所は中止となってしまいました。

今年は、にかほ市の佐藤勘六商店「いちじく甘露煮」「ドライいちじく」やでんべいかれい生産グループ「鱈の甘露煮」、四つ葉ネットワーク「無添加甘酒」、幸月堂菓子舗「風車の見える街サブレ」、日南工業「秋田味噌」「鱈しょつつる」三浦米太郎商店「塩漬けハタハタ燻製」「ハタハタ飯の素」、伊藤製麺所「象潟うどん」、秋田ニ

ューバイオファーム「きりたんぼ」「めんこいなりんごジュース」や雄勝野きむらや「いぶりがっこ」、などが並びます。

是非、デポーに足を運んでみてください。

温暖化対策法改正案～地域の再エネ推進

2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを達成に向けた地球温暖化対策推進法改正案の検討が進められています。

改正案では、地域に役立つ再エネ発電事業を「地域脱炭素化促進事業」と定義しています。市町村は事前に、対象とする事業や区域、事業者を求める地元貢献策といった要件を策定する。地元貢献としては、住民の雇用や災害時の電力供給などを想定している。参入しようとする事業者は、要件に沿った計画を市町村に提出する。市町村の認定を受けた「脱炭素化促進事業」では許可手続きのワンストップ化や環境影響評価（アセスメント）の一部手続きの省略といった特例を認め、地域での再エネ拡充の取り組みを加速させる。対象は、水力発電用の取水や地熱発電用の温泉掘削、森林や農地での施設整備などが対象となる予定だ。

自治体がつくる温暖化対策の実行計画の「再エネ導入目標」の設定をめぐるっては、都道府県、政令指定都市、中核市には設定を義務化する一方、その他市町村は努力規定に留めた。

また、改正案に新たに盛り込んだ基本理念では、産業革命前からの気温上昇を2℃未満に抑えることなどを掲げたパリ協定に触れ、「環境の保全と経済の発展を統合的に推進しつつ、温暖化対策の推進は、50年までの脱炭素社会の実現を旨として、国民、国、地方自治体等の密接な連携のもとに行われなければならない」と明記した。

この温対法の改正案は、今月末に閣議決定し、今国会での成立を目指している。

地球温暖化対策推進法改正案のポイント

- ・ 地域社会への貢献や環境保全をしつつ、再生可能エネルギーを活用した脱炭素化の促進制度を創出
- ・ 基本理念を新たに設け「2050年までの脱炭素社会の実現」を明記
- ・ 地域に役立つ再エネ事業を「地域脱炭素促進事業」と定義
- ・ 市町村は事前に、事業者を求める地元貢献など要件を策定
- ・ 参入しようとする事業者は、要件に沿った計画を市町村に提出
- ・ 計画が認定されれば、事業に伴う手続きを簡素化

(2021. 2. 17 東京新聞)

生活クラブ 班個配でにかほの物産取り組み

2021年度7週企画で、秋田県にかほ市のおいしい特産品の取り組みを行っています。

品目は、伊藤製麺所の「象潟うどん」、四つ葉ネットワークの「無添加甘酒」と新たに、日南工業の「秋田味噌こし」、秋田ニューバイオファームの「めんこいなりんごジュース」の4品目です。

秋田味噌は秋田県産大豆100%の十割味噌で、「にっこり、かぞくが、ほっとする」と「に・か・ほ」のパッケージです。

めんこいなりんごジュースも秋田県産のりんごをそのまま絞ったストレート果汁です。

予告 秋田県の特産品紹介

秋田県産の米と米麹、大豆で造りました

秋田産大豆 100%
秋田県産あきたこまち 100%

秋田味噌(こし)
750g
680円(税込734円)
製造元: 日南工業

秋田県産の米、あきたこまちと大豆で製造しました。味噌も秋田県産(あきた産)のみを使用しています。ふわっと広がる香りがなまりと煮たのこい味噌がなまが特徴です。

搾りたて！旬のりんごのおいしさそのまま

ストレート果汁 100%
秋田産りんご 100%

めんこいなりんごジュース
1.150円(税込1,242円)
製造元: (株)秋田ニューバイオファーム

秋田産りんごをそのまま搾ったストレート果汁。砂糖は一切含まず、そのままストレートジュースに。他のりんごのお汁と違って、りんごのまじり香りが楽しめます。

つるつるとしらのどごし！

象潟うどん
220g
200円(税込216円)
製造元: 伊藤製麺所

工場ごとに生産をばらばらにするのではなく、コシのある麺に仕上げました。小麦粉は全粒粉を配合して、グルテンを強化しています。

お米と麹の豊かな味わい！

無添加甘酒
350g
363円(税込392円)
製造元: 伊藤製麺所

五穀類から抽出した甘酒が、糖質が少ないうどんに合わせた甘酒です。原料は米と麹となす。砂糖、ソルビトール、コーンなどの、子どもやお酒が苦手な方に。

鳥海山・飛島ジオパークが再認定されました



左から4人目:市川雄次にかほ市長

山形県酒田市、遊佐町、秋田県にかほ市、由利本荘市にまたがる鳥海山・飛島エリアは、2016年に「鳥海山・飛島ジオパーク」に認定されています。この地域には「日本海と大地がつくる水と命の循環」を間近に観察することのできる貴重な自然が広がっています。

日本ジオパークに認定された地域は、4年に一度、再認定審査を受けることになっています。

鳥海山・飛島ジオパークは、2/5に開催された第41回日本ジオパーク委員会において、現地調査を踏まえた審議が行われた結果、日本ジオパークに再認定されました。

審査結果の内容は、「新規認定から4年間で、地域住民やステークホルダーの参加が着実に進み、前回の指摘事項の改善も確認できた。さらに、教育活動、ジオツーリズム（ガイド）、認定品制度の創出、可視性の改善、ネットワーク活動については、他のジオパークの参考になる優れた取り組みも確認することができた。以上のことから、日本ジオパークとして再認定する。」という事です。

2/16 にかほ市暴風雪警報

秋田地方气象台によりますと、日本付近は強い冬型の気圧配置となっていて、上空に真冬並みの寒気が流れ込んでいます。このため、16日の県内は、雪をともなって風が強まり、大荒れの天気となっていて、气象台は、秋田県内全域に暴風雪警報を、海に面した市と町に波浪警報を出しています。

秋田県内ではこれまでに、秋田市で16日午前11時32分に33.2メートル、にかほ市で午前6時47分に33メートルの最大瞬間風速を観測しました。湯沢市秋ノ宮では、午前7時19分に26.9メートルの最大瞬間風速を観測し、観測史上1位の値を更新しました。

また、暴風雪警報に伴い、にかほ市役所からは風力発電事業者への設備の確認・点検と緊急時の連絡体制の確認の要請が出されました。生活クラブ風車「夢風」に特に問題は発生していません。